

平成 22 年 12 月 14 日

中国北京での「日本産木材説明会」実施について

日本木材輸出振興協議会

現在は中国「木構造設計規範」に記載されていない日本のスギ、ヒノキ等が明記され、今後の国産材の輸出、ひいては日本の木造建築技術の輸出促進に繋げるため、当協議会は 10 月 29 日、中国北京にある北京展覽館において日本産木材の特徴や利用技術等を紹介する「日本産木材説明会」を開催した。この説明会は、平成 22 年度農林水産物等輸出課題解決対策事業（「中国木造基準における日本産木材の利用同等性の確立」）の一環として、中国国際住宅産業博覧会組織委員会、中国林業科学研究院木材工業研究所および国際木文化学会の協力を得て、中国の木材・木造関係者等を対象に開催したもので、説明会には、中国側から 61 名、日本側から 12 名の出席者があった。

第一部では、末松 広行林野庁林政部長による『日本の森林・林業・木材利用』、NPO 法人木材・合板博物館 岡野 健館長による『Sugi and Hinoki, Best wood for house construction in Japan』および静岡大学 安村 基教授による『日本における木造建築の展開』の 3 講演が行われ、引き続き、ミサワホーム株式会社と越井木材工業株式会社により、日本産木材とその利用事例についての紹介が行われた。

これに併せて、説明会の開催に関する事前告知記事、事後報道記事の掲載及び説明会開催状況をインターネットで配信するなど広く PR を行った。（説明会の動画はこちらから：<http://cn.wood.info/jwea/?p=2>）

また、「日本産木材説明会」の開催にあわせ、中国国家林業局国際協力司と中国林業科学研究院を林野庁の訪中団と共に訪問し、意見交換に参加したほか、中国住宅産業化促進センターとの意見交換も行い、今後の取組について相互協力していくことを確認した。



「日本産木材説明会」（中国北京にて）